

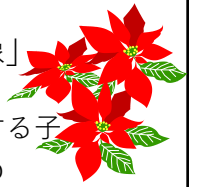
冬休み はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和3年12月23日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」
自ら学ぶ子・人とつながる子
心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子

<http://shinmaizuru.maizuru.ed.jp>



命をかがやかせよう



街のあちらこちらにイルミネーションが輝く季節になりました。12月17日の暴風雪警報による突然の臨時休校につきましては、保護者の皆様、地域の皆様に対応をいただき、ありがとうございました。今日12月23日は2学期の終業式。明日から冬休みが始まります。2学期も保護者の皆様、地域の皆様にご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。

2学期も新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を取りながらではありましたが、様々な行事を行ってきました。今、何ができるか、どのようにすれば子どもたちに力を付ける場、また、力を伸ばす場になるのか、教職員一同、時には子どもたちとアイデアを出し合い、進めてきました。そして一つ一つの行事を通して、子どもたちが成長する姿を見ることができました。支えていただいた皆様に感謝しています。本当にありがとうございました。

11月の終わりから12月にかけて人権旬間の取り組みを進めてきました。人権・人が生まれながらに持っている権利、幸せに生きる権利を大切にして、嫌なことは嫌だという勇気を持つ、そして、友達の人権も大切にしよう、思いやりを持って接しよう、4年生は「いのちと心のコミュニケーション」の出前授業でお話を伺い、自分の生活を振り返りました。

子どもたちは道徳の授業でも、「生命の尊さ」「親切・おもいやり」など大切にしたい価値について、各学級で考え学んでいます。「精一杯生きる」ことについて考えた4年生。長い闘病の末に亡くなった同い年の女の子が書いた「命」という詩を読みました。今生きていることのありがたさや命の尊さについて深く考え、「自分のできる限りのことを精いっぱいして、1日1日を大切に生きたい。」と思いをもちました。

「命のつながり」について考えた3年生。「いのちのまつり」というお話で、命をくれたご先祖様・お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、ひいおじいちゃん・ご先祖様は千人くらい？百万人くらい？と尋ねる主人公にオバアが話します。「数えきれないご先祖様が誰一人欠けても、坊やは生まれてこなかった。だから、坊やの命は、ご先祖様の命でもあるわけさあね。」子どもたちは自分の命のつながりに感動していました。

「私の命は私のだけではないから、大切にしよう。」

年末年始、家族団らんの時間が取れることもあるのではないのでしょうか。親戚が集まる機会があるかもしれません。子どもたちが、それぞれの命が大切にされていることを実感し、命を輝かせようと思えるひと時を過ごすことができることを願っています。



令和3年も本当にありがとうございました。よいお年をお迎えください。 校長 小森昌子

はた・らく . . . 3年生の道徳の教科書より

「はたらくのはたは周りの人、らくは楽にさせる。だから、はたらくということは周りの人を楽にしてあげるために動くことと言われているよ。仕事をするとき、お互いはたらくと思いながらやればみんな気持ちよく暮らせるってね。」冬休み、子どもたちにぜひ、はたらくことの役割分担を！